線形代数学・同演習 A

5月24日分 演習問題

計算問題は解答のみ,証明問題は大雑把な道筋を説明するに留めています.

$$(4) \begin{pmatrix} 10 & 27 & -4 \\ 1 & 3 & 0 \\ 2 & 5 & -1 \end{pmatrix}$$
 (5) 逆行列なし (6)
$$\begin{pmatrix} -363 & 545 & -181 & -35 \\ -72 & 108 & -36 & -7 \\ 42 & -64 & 21 & 4 \\ -10 & 15 & -5 & -1 \end{pmatrix}$$

$$(7) \begin{pmatrix} 34 & 124 & -10 & -7 \\ 10 & 36 & -3 & -2 \\ 2 & 11 & -1 & -1 \\ 1 & 2 & 0 & 0 \end{pmatrix} \tag{8}$$
 遊行列なし

 $3. \quad B,C$ が共にA の逆行列とすると, $BA=E_n,\,AC=E_n$ が成り立つ.ここで,これら3つの 積 BAC を計算してみると, 結合法則より,

$$C = E_n \cdot C = (BA)C = B(AC) = B \cdot E_n = B.$$

したがって,B=C.

- 4. (a) 問題 3 の結果と, $A(A^{-1}) = (A^{-1})A = E_n$ より.
 - (b) 問題 3 の結果と, $(B^{-1}A^{-1})AB=B^{-1}(A^{-1}A)B=B^{-1}B=E_n$ より.
 - $({f c})$ ならない.たとえば, $A=E_n,\,B=-E_n$ とすれば,いずれも正則であるが, $A+B=O_n$ は明らかに正則ではない.
- 5. (1) (a,b)=(1,1) のとき 3 次元, $(a,b)\neq(1,1)$ のとき 2 次元.
 - (2) (a,b)=(-1,-1) のとき 2 次元 , $(a,b)\neq(-1,-1)$ のとき 1 次元 .
- 6. 略.適当なプログラミングの本を参照してください.